

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

大学の説明会で話を聞いて同志社女子大学は就職も強く学生満足度が高く、またオープンキャンパスで学校を見たときに雰囲気がよく、在校生の方もすごく優しく、たゞ是非入学したいと思いました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕 基礎固め + 模試の復習

基礎固めとしては英単語と文法書を次のページに何が来るかわかるくらいしていました。そのときに後からやるなどの工夫やよく間違える所に付箋を貼って重点的に学習しました。

模試の復習は具体的に何をやるのかというと中々手につかなかったのですが、復習ノートを作って間違えた問題を左、右に解答解説を自分なりに作って分からない所は先生にヒントをもらったリしてわかるまでやり直していました。

〔夏休み〕 センター試験 + 基礎固め

センターの問題を20年くらい前のものから10年くらい前のものを時間を計らずに解きました。英語の場合は文法が少し難しいので文法書だけでは足りないためセンターの国文法を何回も解きました。漢字と古文単語は参考書に載っていないものもあるので自分専用ノートを全て作ってそこに書いて見直していました。

夏休み中はどうしても長時間机に向かい時間や眠たくなるときがあったのでその際にあまり頭を使わない英単語などを頑張っておこなうことで机に向かう時間を増やすようにしていました。

〔2学期～入試直前〕 過去問 + 基礎固め

オープンキャンパスの際に頂いた同志社女子大学の過去問をコピーして2～3回解きました。過去問は古いものから解くと最新の傾向がわかりやすいのでオススメです。現代文は何年かに一度難しく自分では分からない問題があったのでわからないものはみんなわからないと言い聞かせました。受験生に悩んでいる段階はありません。過去問は初めはあまり解けないですが自分が気づかない間に必ず力はついてくるので自分を信じて下さい。また、センター直前はセンター試験の過去問と同志社女子大学や他大学の過去問を毎日交互に解きました。私が通っていた塾の自習室は夜11時までだったので10時から英単語のような基礎固めを必ず学習しました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私はクラブ活動は12月まで参加し文化祭の準備なども積極的に参加していましたが合格できました。

テレビは大好きなので家に帰ってからは全く勉強しないと決めてテレビやスマホで息抜きをしていました。

それまでは塾の自習室で11時まで勉強していましたが家に帰るとテレビがあると思うと勉強も頑張れませんでした。

9月くらいの時に勉強が頑張れなくなったことがありました。もうその日は無理にするのではなく、自分のやりたいことをやるようにしていました。そうするとなぜか勉強しやすくなりました。決して無理をしないして下さい。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

もし辛い、辞めたい、逃げたいと思ったときは親御さんや誰かに話して少しでも負担を取って下さい。

勉強を続けていても模試で良い結果が出なくても実力は必ずついてくるので諦めず、他人と比較せず自分を信じて合格を勝ち取ってください。応援しています。